

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： 全身麻酔下に経カテーテル的大動脈弁置換術を受ける大動脈弁狭窄症患者の麻酔導入後低血圧の予測モデルの構築

研究の目的

全身麻酔導入後の低血圧は高頻度に起こりますが、経カテーテル的大動脈弁置換術を受ける大動脈弁狭窄症患者ではその頻度はさらに上昇します。麻酔導入後の低血圧は時に脳梗塞や急性腎障害など重篤な合併症につながることがあります。そのため、開腹手術などの一般的な手術では麻酔導入後低血圧の予測モデルが存在しますが、経カテーテル的大動脈弁置換術は比較的新しい術式のため、予測モデルは存在しません。そこで本研究では経カテーテル的大動脈弁置換術を受ける大動脈弁狭窄症患者の麻酔導入後低血圧の予測モデルを構築し、低血圧の予防につなげ術後合併症を減らすことを目的とします。

研究実施期間： 2022年 10月 7日 ～ 2023年 9月 30日
(倫理委員会承認日)

対象となる方： 2019年11月5日～2022年8月30日までの間に当院にて全身麻酔下に経カテーテル的大動脈弁置換術を受けた患者

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報のうち、性別、年齢、身長、体重、既往歴、内服薬、手術の種類、手術時間、麻酔時間、麻酔方法、麻酔導入後の低血圧を含めた手術中のバイタルサイン、昇圧薬の使用量、輸液量、尿量、周術期の血液ガス検査、末梢血検査、ICU滞在期間、入院期間、術後合併症などについて、標記研究課題実施のために利用します。

具体的には、患者様を麻酔導入後に低血圧をきたした群と低血圧をきたさなかった群の2群に分け、年齢、性別、身長、体重、既往歴、活動度、心機能、心不全の程度などを比較し、低血圧に関連する因子を検討します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除

外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先

麻酔科・竹川大貴 0172-39-5113/takekawa@hirosaki-u.ac.jp